

福井県糖尿病地域連携パスの開始と運用について

ア) パスを開始(適用)する医療機関の業務。

パスを開始する手順

- ① 連携医療機関および患者の同意を得る。
- ② 個人目標を決定し、説明する。当初の目標達成状況を評価し、記載、説明する。
- ③ エクセルファイル(DM_shoukaijoh)目次シートに表示した下記を印刷
診療情報提供書、医師向けの諸文書、および、患者向けの諸文書
- ④ 次回受診時期を記載し、説明する。
- ⑤ 各種手帳(下記)と、経過表(又は、糖尿病連携手帳)を持参して、かかりつけ医および連携医療機関を受診するよう、患者さんに説明する。

パスを開始した後の受診時

- ① 目標達成状況の評価と次回受診時期を記載、説明し、印刷する。
- ② パスの継続について検討する。
- ③ パスの個人目標を検討し、変更する場合は説明し、新たに印刷する。
- ④ 必要に応じ、次の経過表を作成する。

イ) パス開始後。かかりつけ医の業務。

- ① 受診毎の実施行為(診察、体重測定、採血など)を、経過表(又は、糖尿病連携手帳)に記載する。
- ② 検査結果等の要点を糖尿病(連携)手帳、または、経過表に記載する。
- ③ 次回のかかりつけ医を受診する時期をパス経過表、又は、糖尿病連携手帳の「療養指導のポイント欄」に記載する。
- ④ 連携医療機関を受診する際には、経過中の特記事項の有無等を記載した診療情報提供書を準備する。経過表、および糖尿病(連携)手帳などの検査値(要点)を記載したものも持参して受診するよう指導する(検査値を記載(②)できない場合は、検査値のコピーを渡す)。

ウ) パス開始後。眼科診療所など、パス開始医療機関・かかりつけ医以外の医療機関の業務。

- ① 検査結果等の要点を糖尿病(連携)手帳、または、経過表に記載する。
- ② 次回の受診予定時期をパス経過表、又は、糖尿病連携手帳の「療養指導のポイント欄」に記載する。
- ③ 診療情報提供書、各種手帳、或いは、経過表(又は、糖尿病連携手帳)に検査報告を記す。

エ) パス開始後。患者さんの役割。

- ① 個人目標の達成にむけて努力する。
- ② 各種手帳と経過表(又は、糖尿病連携手帳)を持参して、指定された時期に受診する。

オ) 各種手帳を併用することを前提としております。

糖尿病(連携)手帳は、糖尿病協会編纂のものを製薬企業から入手できる。
糖尿病眼学会作成の糖尿病眼手帳は、三和化学から入手できます。